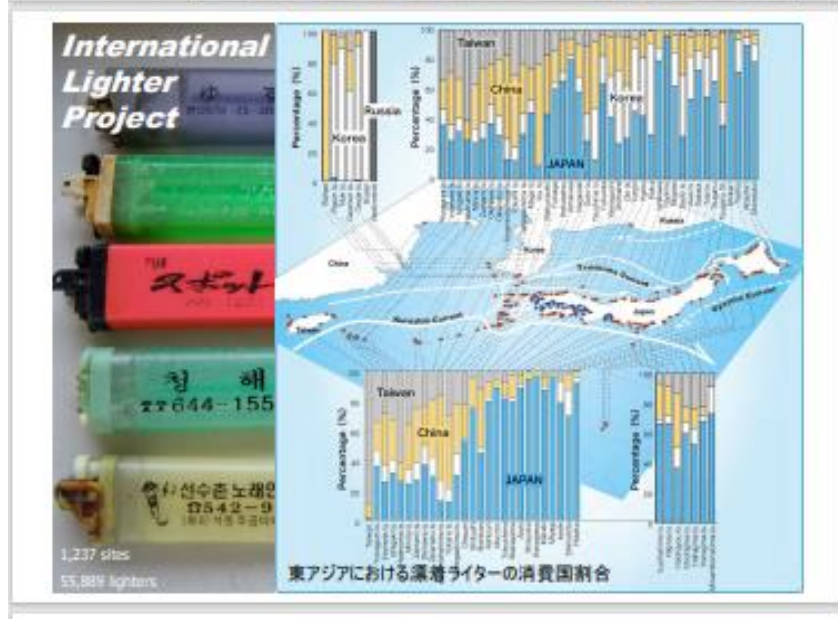


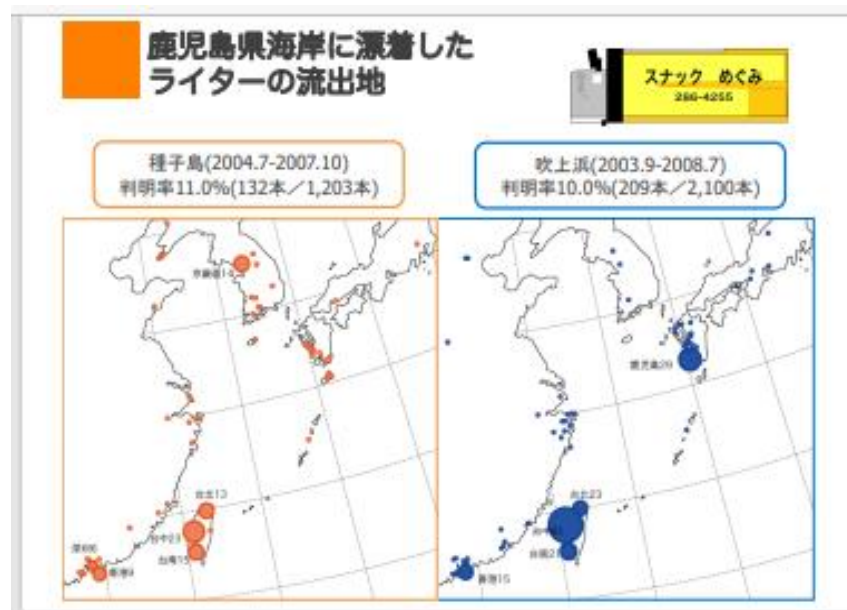
1



2



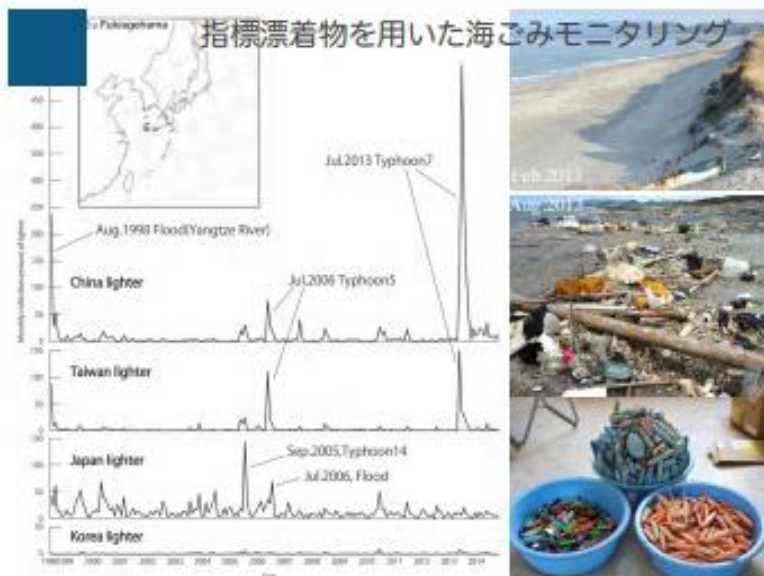
3



4



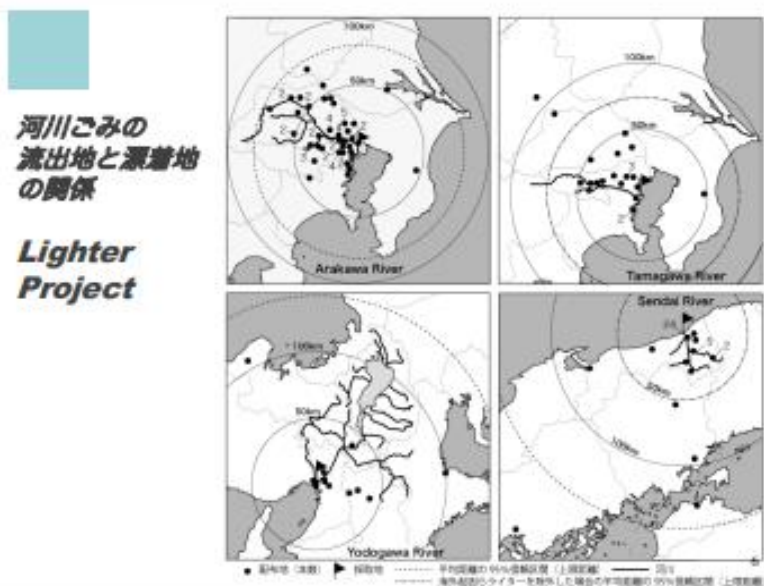
5



7



6



8



9

4. 海ごみはどこへ行く？



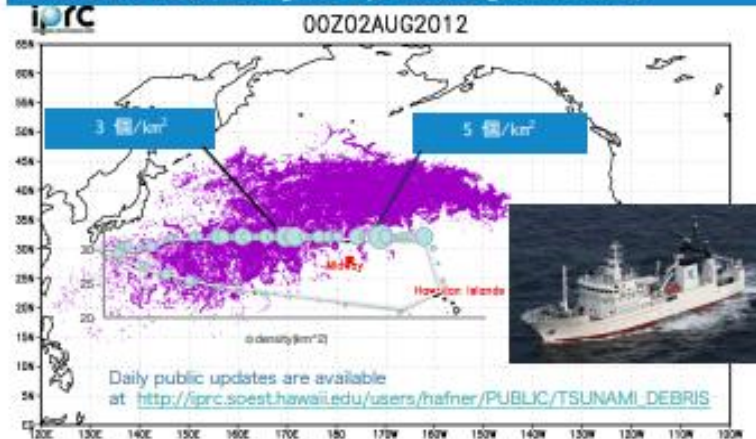
北太平洋の海流

11



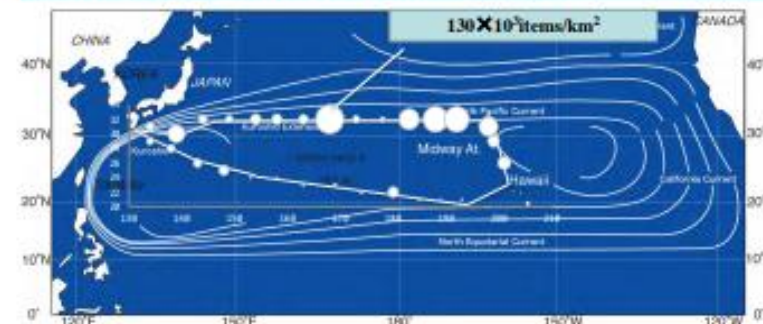
10

津波起因漂着物シミュレーション結果(2 Aug. 2012, IPRC)と
目視調査結果の比較 (10 Aug.-25 Sep. 2012, Kagoshima-maru)



日本周辺海域：最大値 3 個/km² (Shimoto & Kanada 2005)
瀬戸内海：平均値 500 個/km² (Fujita 2012)

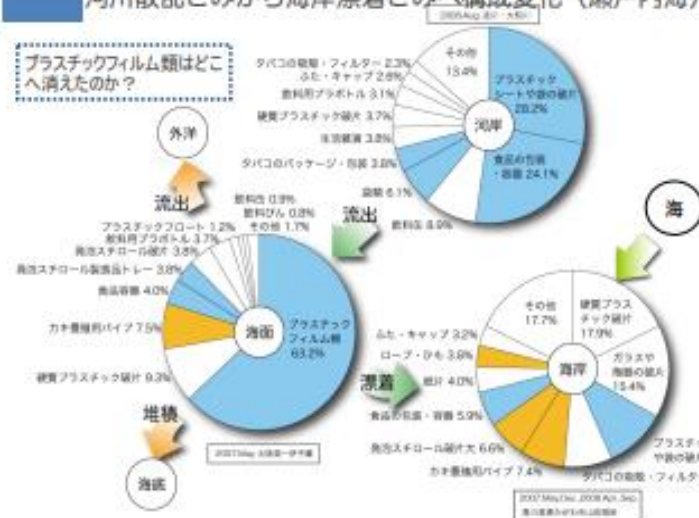
12



13

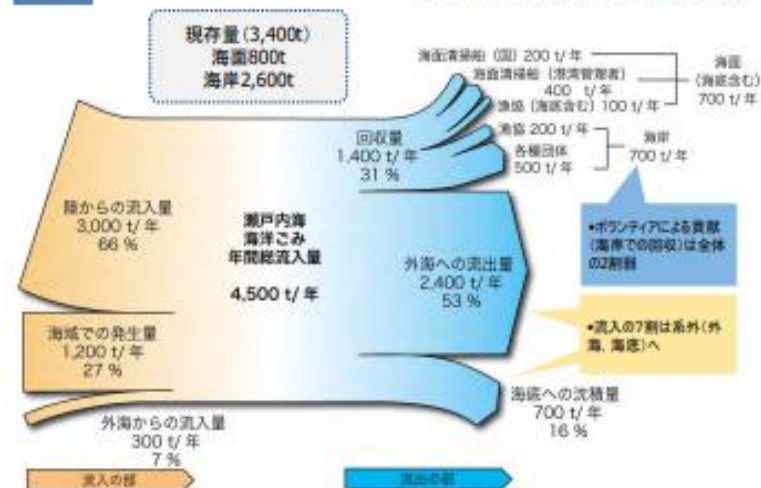
レジ袋と海ごみ問題 河川散乱ごみから海岸漂着ごみへ構成変化（瀬戸内海）

プラスチックフィルム類はどこへ消えたのか？



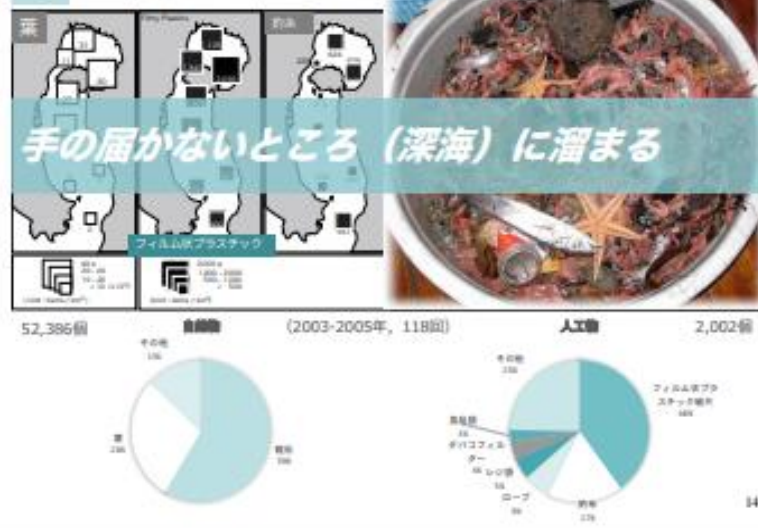
15

「瀬戸内海における海洋ごみの収支」から 私たちが出来ることを考える



14

錦江湾海底堆積ごみの分布密度



16

海ごみ問題、どうすればよいのか

私達の生活や産業でごみが出る以上、海にはその一部が流れ出てしまうことを前提に、以下の対策を実行する。

■海ごみ第一法則

海に流出したプラスチックごみは、元の状態を保つことができない。(破片化)

■海ごみ第二法則

海にごみが流れ出れば、それは海に拡散する。(不可逆的法則)

■海ごみ第三法則

海ごみは、回収、発生抑制のどちらかだけではゼロにはならない。(回収+発生抑制)

■海ごみ対策その1

海ごみ問題を知ること+行動すること

■海ごみ対策その2

これまで海に出たごみの回収 (過去への反省) + 海に出る前に回収 (未来のために)

■海ごみ対策その3

回収+発生抑制を継続し、それを支援をする。